

編集・発行 社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
 〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内
 TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
 ホームページアドレス <http://www.kami-shakyo.org/>



とどけます みんなの元気

小代の秋を楽しむ 但馬牛ゆったりウォーク（小代区）

香美町小代区で、11月2日（土）・3日（日）「第5回但馬牛ゆったりウォーク」が開催されました。小代区の Gondras Station を出発し、名牛・田尻号の顕彰碑や美方高原、日本棚田百選の「うへ山」などを巡る計6コース。「小代村まつり」として、但馬牛すし、うどん、とち餅、いも鍋、すっぽん雑炊など地元グルメが味わえるバザーも出店し、来場者を「お・も・て・な・し」しました。「日本で最も美しい村」にも選ばれ、地元の若者たちもバザーのスタッフやステージ発表で村おこしに協力！参加者たちは澄んだ空気に包まれた秋の風景を楽しみながら、「えいえいモー」のかけ声でスタートし、子どもから高齢者まで、ウォーキングに汗を流しました。

《今月の主な内容》

介護保険事業所紹介
 通所介護事業所（デイサービスセンター）…2
 みんなの幸せを目指した集落福祉活動…3
 香美町ボランティアセンターだより…4～5

第25回ふれあい旅行 ……6
 賛助会員の御礼 ……7
 歳末たすけあい運動 ……7
 けいじばん ……8



介護保険事業所紹介

シリーズ② 通所介護サービス(デイサービスセンター)

通所介護サービスは、要支援又は、要介護状態にあるお客様が、入浴や食事、機能訓練、口腔ケアなど、身体機能向上のための支援を日帰りで受けることができるサービスです。香美町社協には、通所介護事業所「ほほえみ」と、村岡通所介護事業所の2つのデイサービスがあります。

デイサービスというと、みんなでレクリエーションを楽しんでいる、というイメージが強いかもしれませんが、レクリエーションの効果として、笑うことで表情が豊かになったり、身体機能向上のための体操を組み込んだりと、工夫をしています。また、個別に理学療法士の指導に基づいた機能訓練等も行っています。

お客様方も、「あの人に会えるから」「外にも出ないと」と、それぞれに目的を持って、デイサービスを利用されています。自己決定は、一番の自立につながります。

次に、各事業所の特色をご紹介します。

● 通所介護事業所「ほほえみ」



▲ たくさん笑うことが、元気で健康の秘訣です！

お一人おひとりに合わせたサービス、人の手による温かいサービスが特色です。機械を使わず、人の手で入浴介助をすることで、ちよつとした角度や支える位置など、その方に合った細かい変化をつけることができます。

また、おやつは毎日、調理員さんの手作りです、作りたてを提供し、「ぬくもり」たっぷりのサービスで、「ほほえみ」あふれる事業所を目指しています。

● 村岡デイサービスセンター



▲ 個別の機能訓練。いつまでも自分の足で歩けるように。

口腔ケアに力を入れています。毎月歯科衛生士と連携し、口腔内のチェックをしています。口腔内を清潔に保つことで、口の中の細菌が気管に入ることで起こる、誤嚥性肺炎の危険を減らすことができます。

また、個人に合わせた機能訓練も行っており、筋力トレーニングや、普段は車椅子の方の歩行訓練など、健康維持のための取り組みを行っています。

ご利用料金(自己負担1割)の目安

(例1) 要介護1の方が1回利用

690円+食費(700円)+加算(入浴、機能訓練等)
= **1,644円**

(例2) 要支援1の方が週に1回利用(1ヵ月分)※定額制

2,267円+食費(700円×4回分)+加算(機能訓練等)
= **5,477円**

その他、お問い合わせ・詳細につきましては下記へご連絡ください。

通所介護事業所「ほほえみ」

☎ 0796-38-1515

休業日: 毎週土曜日

村岡通所介護事業所

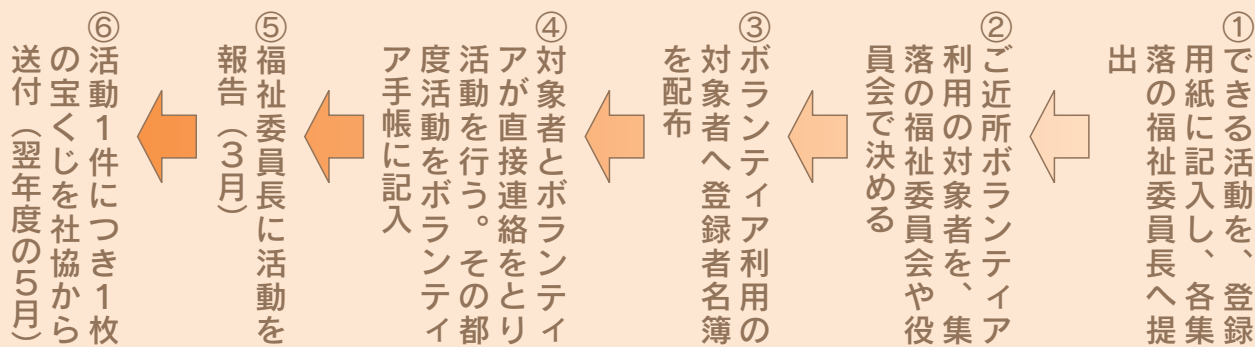
☎ 0796-98-1000

休業日: 毎週土曜・日曜・祝日



ご近所ボランティアで助け合いの地域づくり

ご近所ボランティアの流れ



ご近所ボランティア利用の対象者

- ・ ひとり暮らしの高齢者
- ・ 高齢者のみの世帯
- ・ 重度の障害者とその家族
- ・ その他、福祉委員会や役員会で支援が必要と認められた場合（子育て中の親子など）
- ・ 福祉・防災マップ要援護者登録者 など



ご近所ボランティアって？

ご近所ボランティアとは集落内での助け合い活動を活性化するための事業です。

ご近所ボランティアのポイント

大切なのは、集落内で援助が必要な方を福祉委員会や役員会の中で共有することです。また対象者を決めるポイントとしては、各集落のささえあい要援護者マップと連動することがあげられます。

ご近所ボランティアに

登録して活動する理由

「地域の助け合いは当たり前だからいちいち登録はしない」「宝くじが欲しくて活動しているわけじゃないから、登録して活動しても報告はしない」など、住民の方から様々なご意見がご近所ボランティアには寄せられます。

そういった中でご近所ボランティアを進める理由は、行った活動を福祉委員長に報告することで、集落内の対象者Ⅱ要援護者が普段誰とつながりがあるかという情報を、福祉委員会や役員会で把握することができ、集落内の見守り活動やその他の福祉活動で活用することが出来ます。また、ご近所ボランティアに登録することで兵庫県ボランティア災害共済に加入することになり、活動中の事故やケガに備えることが出来ます。災害共済の掛け金（五〇〇円）は社協が負担します。

これから

高齢化が急速に進む香美町において、集落内での助け合いが重要視されています。どの集落でも昔から受け継がれている『困ったときは、お互いさま』の助け合い意識と活動を、ご近所ボランティアという目に見える活動にしていきたいませんか。見える活動にすること、集落で取り組むことで、『気兼ねして頼みにくい』という想いも少しずつ無くなるのではないのでしょうか。

平成25年11月現在の登録者数は、小代区で8集落31名、村岡区で28集落72名、香住区で27集落121名です。

平成24年度は小代区で87件、村岡区で274件、香住区で119件の報告がありました。



香美町 ボランティアセンターだより

香住区

香住第二中学校の取り組み

香住第二中学校では、以前より近くの福祉施設「デイサービスほほえみ」、「グループホームかがやき」と交流を深めてきました。

今年度は、トライやる・ウィークや夏休み福祉体験学習を含めた継続的な取り組みの中で認知症についても学び、相手を理解しようとすることの大切さを実感しました。

認知症を考える

9月24日、全校生を対象に高齢者問題を考える人権講演会を開催、社協職員が講師となり、「認知症をもつ人を

香美町社会福祉協議会では、町内の小・中学校、高等学校が取り組んでいる「福祉体験学習」の支援を行っています。
福祉体験学習は、地域で暮らす高齢者や障害のある方、ボランティアなど、さまざまな人々との出会いや交流、体験を通して、児童・生徒が自ら感じ、考え、行動できる「ともに生きる力」を育んでいくことを目的に行っています。
その取り組みの一部をご紹介します。



▲人権講演会。認知症について学びました。

地域で支える」をテーマに、映像を交えながらお話を聞きました。

生徒たちは、高齢社会の現

状を知るとともに、高齢になるとどのような変化が起きてくるのか、最近よく言われている「認知症」とは何か、また、認知症の方とどのように関わればよいのかなどについて熱心に学び、自分たちが地域でできることを考えました。

生徒企画の交流会

10月25日、2年生の生徒が「グループホームかがやき」の入居者9名を学校へ招き、交流会を行いました。入居者の皆さんは校舎へ入るのは初めて車いす利用の方もおられることから、生徒たちは車いすや歩行介助についても事前に学びました。

交流会では、おやつ作りやレクリエーションなど一緒に楽しめる内容を考え、生徒たちの方から積極的に声をかけたり、入居者の皆さんにお手伝いしてもらうなど、みんなが参加できる交流会を心掛けました。

生徒の感想より

・「認知症」という言葉は知っていたけど、どのようなもので、



▲生徒企画の交流会。グループホームで採れたサツマイモで、蒸しパン作り。

どのように接していけばいいのか分かりませんでした。認知症の人の声に耳を傾けてその人の気持ちを考え、優しくていねいに対応していきたいと思いました。

・認知症は本人も、関わる人も大変だと思います。もしも家族が認知症になったら：私にできることが絶対あると思うし、病気のつらさを一番に分かってあげなくてはと思いました。

・自分の家だけでなく、地域の人たちのことも気にかけておくことが大切だと分かりました。

村岡区

「車いす体験」と「高齢者との交流」

村岡小学校5年生



▲ 歌で元気をお届けします♪

10月24日、村岡小学校5年生が、村岡老人福祉センターで車いす体験とデイサービスを利用している高齢者の方々とこの交流会を行いました。

車いす体験では、ドアの開け閉めや、狭い場所での操作が大変なことを体験から実感しました。「困っている人がいたら『お手伝いしましょうか』と勇気を持って声をかけてみ

よう」「無理なら近くにいたる大人にお願いします」ということを学びました。

高齢者との交流では、デイサービス利用者を代表して、西谷二夫さんが「自分たちが子どもの頃は勉強をしたくてもできない時代だった。今は違う。先生の言うことをしっかりと聞いて頑張って勉強してください」とあたたかい励ましの言葉から始まり、ゲームや歌などで交流を深めました。「児童は高齢者から学ぶ」「高齢者は児童から元気をもらう」交流会はお互いにとって有意義な活動です。これをきっかけに、普段の生活においても近所の児童と高齢者のつながりが深まっていくことを期待します。

小代区

視覚障害者と交流

小代小学校3年生



▲ 今岡さんの必需品しゃべるパソコン!?!に興味津々。

視覚障害者今岡さんをお迎えして、10月22日、小代小学校3年生14名と交流をしました。今回で3回目の交流になり、顔見知りの5年生、4年生の児童が、今岡さんに声をかける様子も見られました。

交流会では、今岡さんに普段の生活の様子を話していただき、児童からは様々な質問がありました。

「目を閉じているときはどんな色に見えますか」「服はどうやって着ますか」などの質問に、今岡さんは「霧がかかったように白っぽく見えます」

「服はみんなと同じですよ」「ただ色は分からないのでちぐはぐかもしれません。靴下は左右色違いで履いていることがあります」と、丁寧に答えてくださいました。

最後に、ハーモニカ演奏をしていただき、子ども達からもリコーダー演奏と歌をプレゼントしました。

この交流会を通じて、視覚障害者の日常生活についての理解を深めることで、視覚障害者に出会った際に、自分がどんなことができるのかを考え、行動できるようになってもらえたらと思います。

安芸の宮島を満喫！ 第25回ふれあい旅行

10月20日～21日

今年のふれあい旅行は安芸の宮島 厳島神社参拝の旅を実施し六十七名の方に参加していただきました。

心温まる

ふれあい旅行に参加して

村岡区高井 宅見阿矢加さん

今回、祖母と初めて参加させていただきました。自分も何かの役に立てればと、足の不自由な方の手をひいたり、車椅子を押したりさせていただき、皆さんからの「ありがとう」という言葉に心温まりました。家族からも、「若い力が役にたつてよかった」と喜ばれました。旅行中は皆さんから気さくに声をかけてもらい、初対面とは思えないほど会話が弾みとても楽しい旅行になりました。寝たきりの方も旅行を楽しめるような工夫や、スタッフの自然な気配り、声かけに感動しました。来年もぜひ参加させていただき、皆さんと心温まる機会になればと思います。

感動！

小代区忠宮 西村三男さん

今年初めて参加させていただきました。他のバス旅行とは違い、トイレ休憩の時間を長くとられていることやスタッフ・ボランティアの方のテキパキとした行動など感動する点が幾つもありました。ぜひ来年も近所の友人を誘って参加させていただきます。

ふれあい旅行は

私にとって奇跡

香住区大野 原田明美さん
今年で25回連続の参加にな



▲ 広い宮島の島内も、車椅子なら安心♪

ります。ふれあい旅行に参加するまでは、両手両足が動かず、寝たきりの私が旅行に行くなんて、絶対に無理だと思っていました。それが今では様々な場所に行き、様々なものを見て、様々な事を感じています。皆さんと一緒に旅行を楽しんでいます。またそれが四半世紀続いていることも嬉しいことです。この奇跡がいつまでも続きますように。



▲ たくさんの出会いとふれあいがありました

ふれあい旅行に参加して

香美町役場 福井浩之さん
旅行中はスタッフと参加者の垣根なく皆さんが旅行を楽

しんでいたことや、普段は旅行に行きにくい方々の笑顔が特に印象に残っています。参加されたみなさんが手を取り合い、思いやりがあったからこそできた素晴らしい旅行だったと思います。

25回の節目をおかえて

実行委員長 山本順一さん

今年で25回の節目をむかえる事ができましたのも、町当局ならびに社会福祉協議会のご協力、そしてご参加していただく多くの町民の皆様のおかげです。厚くお礼を申し上げます。今年のふれあい旅行は1泊2日の日程で、安芸の宮島を散策するゆったりした旅を計画しました。ご参加くださいました皆様にはご満足していただいた事と思います。今後参加者の皆様のアンケートをもとにどなたでも楽しめる旅行を計画していきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

～みんなでささえあうあったかい地域づくり～

歳末たすけあい運動

12月1日

「歳末たすけあい運動」は共同募金事業の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や協力を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものです。



町民の皆様よりいただきました募金は、共同募金委員会で話し合い、香美町内で行われる年末年始の福祉事業や、町内で支援を必要とされるご家庭へ配分されます。

皆様のご協力をお願いいたします。

ありがとうございます

平成25年度香美町社会福祉協議会

賛助会費中間報告（平成25年度10月31日）

香住区 ▼香住 ㈸田村建築、㈸てら川美術印刷、㈸中村建設、
㈸片岡会計 ▼矢田 谷原登 ▼上岡 花登正一 ▼安木 佐藤
喜久雄 ▼訓谷 浜田光男 ▼上計 寺川理生
村岡区 ▼村岡 吉岡照江 北陽電設 ▼寺河内 坂本眞一、坂
本美枝子 ▼宿 黒田博昭、黒田とみ子、上田義雄
小代区 ▼秋岡 吉田二雄 ▼神水 今井弘 ▼石寺 細川光則
香美町外 ▼養父市 全但印刷工業株式会社（敬称略）

25年度累計 237件 863,000円
ご理解をいただいた方のみお名前を掲載させていただいています。

善意銀行だより

（平成25年10月1日～31日）（預託順・敬称略）

本所

・香典返し

訓谷 西谷新

・浦上 藤原浩司

下住 福島勉

・香住 守山恵美子

一日市 山田正野

・七日市 福田代一

見舞返し 中嶋静恵

・上計 中嶋静恵

村岡支所

・香典返し

福岡 井上秀毅

・口大谷 今井上

日影 黒田恵一

・高津 田村恵司

・味取 天良達雄

・村岡 今岡義孝

・長瀬 北村甲

・福祉の志 中村佐登恵

・物品預託 金光教村岡教会

・市原 中村奈津希

・村岡 吉川廣昭（切手）

・小代支所

・香典返し

・茅野 前垣光夫

・神水 井上隆夫

・貫田 小林武夫

・浜松市 井二喜久男

預託金合計 473,000円

○お名前は、預託者本人のご意向により掲載しています。

皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

収集ボランティア

（平成25年10月1日～31日）

古切手等の収集にご協力いただいた皆様をご紹介します。

10月分（預託順・敬称略）古切手・ペルマーク・はがき・テレホンカード

〔本所〕

香住 香住小学校

沖浦 松森貴美子

沖浦 駒むすび

七日市 沖浦老人クラブ

香住 森田寛子

〔村岡支所〕

村岡 橋法務行政書士事務所

村岡 今井はる子

福岡 アイテック西岡

村岡 但馬銀行村岡支店

長瀬 あゆの里矢田川

高井 入江産業

兎塚・川会歯科診療所

福岡 兎塚診療所

村岡 上田優

市原 中村奈津希

大野 大林和子

〔小代支所〕

茅野 今西一代

新屋 田野新一

石寺 井口幸恵

城山 美芳葬儀店・美方パレス

その他にも、匿名で多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

社協のけいじばん

各種相談は町内どこでも受けられます。本所、各支所にお気軽にご相談ください。

※秘密は厳守します。

※相談はいずれも無料です。

～総合相談所のごあんない～

お問い合わせ先	本 所 TEL 0796-39-2050	村岡支所 TEL 0796-98-1000	小代支所 TEL 0796-97-2202
心配ごと相談	とき:12月18日(水) 13:30～16:00 ところ:香住老人福祉センター	とき:12月11日(水) 13:30～16:00 ところ:村岡老人福祉センター	とき:12月4日(水) 13:30～16:00 ところ:いこいの里
ほっとHOT (結婚相談)	とき:12月26日(木) 13:30～16:00 ところ:香住老人福祉センター	とき:12月12日(木) 9:30～12:00 ところ:村岡老人福祉センター	とき:12月19日(木) 13:30～16:00 ところ:いこいの里
弁護士相談 ※要予約(1人30分)	とき:12月10日(火) 13:00～16:00 ところ:香住老人福祉センター 担当者:野崎 佑弁護士		



試着された方に写真プレゼント!

成人式振袖予約会

日時

平成二十六年二月十八日(土)～十九日(日)

場所

香住老人福祉センター(香住区香住二八二二)

“ブライダルショップ”ドリーム

電話・FAX 〇七九六―三六―二八〇〇

午前九時～午後六時